

運用商品の全体構成に関する説明

運営管理機関 株式会社みずほ銀行

当プランのラインアップ商品は、年代や投資経験等の異なる様々な加入者の方がご自身に合わせて高齢期の所得確保に資する運用ができるように、以下の商品構成になっています。

商品の位置づけ		商品カテゴリー	選定理由
年代や投資経験等に照らし許容できるリスクをとりつつ、高齢期の所得確保に必要な収益を目指し運用したい加入者の方	投資資産の選択を専門家に委ねたい加入者の方向けの商品	バランス型商品	分散投資を行いたいが投資経験が少ない等の理由から運用判断を専門家に委ねたい加入者の方向けの商品として、複数資産への分散投資を行うバランス型商品を選定。
	自分で投資資産を選択することで自分に適した分散投資を行いたい加入者の方向けの基本商品（その1）	個別資産パッシブ商品（基本4資産）	自分で投資資産を選択することで自分に適した分散投資を行いたい加入者の方向けの基本商品として、基本4資産（国内・先進国の債券・株式）を投資対象とし、市場の平均的な値動きに連動する収益を目指すパッシブ商品を選定。
	より多くの投資資産に分散することで分散投資の効果を高めたい加入者の方向けの基本商品（その2）	個別資産パッシブ商品（基本4資産以外）	より多くの投資資産に分散することで分散投資の効果を高めたい加入者の方向けの基本商品として、基本4資産（国内・先進国の債券・株式）と異なるリスク・リターン特性を有するその他の資産を投資対象とし、市場の平均的な値動きに連動する収益を目指すパッシブ商品を選定。
	独自の商品性や運用スタイル等を有する商品を選択したい加入者の方向けの応用商品	個別資産アクティブ商品	より積極的に収益を追求したい加入者の方向けの応用商品として、独自の運用スタイル等により市場の平均的な値動きを上回る収益を目指すアクティブ商品を選定。
年代や投資経験等に照らし許容できるリスクが低い加入者の方向けの確定利回り商品		元本確保型商品	年代や投資経験等に照らし許容できるリスクが低い加入者の方向けの確定利回り商品として、満期に応じてあらかじめ定められた利息収益が得られる元本確保型商品を選定。

指定運用方法に関する留意事項（対象：2018年5月以降に制度に加入した加入者の方）

- ・当プランには、確定拠出年金法第二十三条の二に規定される指定運用方法が設定されています。
- ・運用指図が行われないまま、規約で定める「特定期間」および「猶予期間」を経過した場合、加入者は指定運用方法を運用の方法として指図したものとみなされます。
- ・指定運用方法を運用の方法とする指図を行ったとみなされた後も、加入者は自ら選択して運用の指図を変更することが可能です。
- ・指定運用方法を運用の方法とする指図を行ったとみなされた場合、その運用から生ずる利益および損失については、加入者の責任に帰属します。

当プランで設定されている指定運用方法の運用商品について

商品名		運用会社
投資のソムリエ＜DC年金＞リスク抑制型		アセットマネジメントOne
特定期間	猶予期間	
初回掛金拠出日から3ヶ月間	特定期間満了日の翌日から2週間	
指定運用方法に関する利益の見込みおよび損失の可能性		
利益の見込み:主に国内外の株式・債券等の値動きのある有価証券へ実質的に投資を行うため、商品の基準価額は変動します。有価証券の利子、配当、値上がり益、為替の差益などから生じる信託財産の増加を通じて、商品の基準価額が上昇することにより、利益が得られる見込みがあります。		
損失の可能性:商品の基準価額の下落により、損失を被り、運用の結果として投資元本が毀損される可能性があります（元本確保型の商品ではありません）。		
これらの運用による損益はすべて投資している加入者に帰属します。		
指定運用方法の選定理由		
加入者集団の属性等や必要とされる収益の水準に対し、運用により見込まれる利益（リターン）、損失の可能性（リスク）、運用に係る手数料、および運用結果として拠出した掛金の合計額を上回る可能性等を総合的に考慮し、複数資産への分散投資を行うバランス型ファンドのなかで、投資環境の変化等に応じて機動的に資産配分比率を変更することにより、リスク抑制を行う機能を有する当該商品を選定		
手数料および費用について		
信託報酬が信託財産より控除されます。		

※運用商品の特徴・リスク・リターン特性については、運用商品概要書・過去の運用実績を合わせてご確認ください。

J AバンクのiDeCo （みずほプラン） 運用商品一覧

運営管理機関 みずほ銀行

運用商品の詳しい情報（商品概要説明資料等）はこちら

[https://www.dcplan.co.jp/dcpsweb/rx.appstart?
CLASS=JAB&KINYUCODE=01&ID=GWEB3010101](https://www.dcplan.co.jp/dcpsweb/rx.appstart?CLASS=JAB&KINYUCODE=01&ID=GWEB3010101)
（提供：確定拠出年金サービス株式会社）



これから加入される方はこちら

運営 株式会社みずほ銀行

既にご加入済みの方はこちら

委託運営先 確定拠出年金サービス株式会社

0120-500-768

フリーダイヤルをご利用いただけない場合（通話料有料）

03-4332-7956

営業時間

平日 9:00～17:00

（12月31～1月3日、土日・祝日・振替休日とはご利用いただけません）

0120-867-401

フリーダイヤルをご利用いただけない場合（通話料有料）

045-949-6250

オペレーターサービス利用時間帯

平日 9:00～21:00／土・日曜日 9:00～17:00

（12月31日～1月3日、祝日・振替休日、ゴールデンウィークの一部の日およびメンテナンスの日とはご利用いただけません）

J Aバンクは受付金融機関のため、法令上本資料の説明はできません。

基準日：2023年4月1日

Copyright (c) Mizuho Financial Group, Inc. All Rights Reserved.

運用商品一覧

以下の運用商品ラインアップの中から商品を選択することができます。
各商品の内容については、商品概要説明資料をご覧ください。
商品選択の最終判断は、お客さまご自身の責任において行ってください。

商品ラインアップならびに選定理由

●元本確保型商品以外の商品						
商品種類	主要投資対象	運用スタイル※1	商品番号	商品名 略称	商品名	運用会社
投資信託	バランス※2	アクティブ	001	DIAM投資ソムリエリスク抑制	投資のソムリエ＜DC年金＞リスク抑制型	アセットマネジメントOne
			002	DIAM投資ソムリエDC	投資のソムリエ＜DC年金＞	
			017	One国際分散投資リスク6%	One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク6%)＜DC年金＞	
			018	One国際分散投資リスク8%	One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク8%)＜DC年金＞	
		パッシブ	003	Oneたわらバランス安定型	たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	アセットマネジメントOne
			004	Oneたわらバランス安定成長型	たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	
			005	Oneたわらバランス成長型	たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	
			006	Oneたわらバランス積極型	たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	
	国内債券	パッシブ	007	Oneたわら国内債券	たわらノーロード 国内債券	アセットマネジメントOne
	国内株式	アクティブ	019	おおぶねJAPAN	農林中金＜パートナーズ＞おおぶねJAPAN(日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ
		パッシブ	008	OneDC国内株式インデックス	One DC 国内株式インデックスファンド	アセットマネジメントOne
	海外債券	パッシブ	009	Oneたわら先進国債券	たわらノーロード 先進国債券	アセットマネジメントOne
			010	Oneたわら先進国債券ヘッジ有	たわらノーロード 先進国債券＜為替ヘッジあり＞	
	海外株式	アクティブ	011	農林中金長期厳選投資おおぶね	農林中金＜パートナーズ＞長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント
			020	おおぶねグローバル	農林中金＜パートナーズ＞おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ
			021	One未来の世界ESG	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne
		パッシブ	012	Oneたわら先進国株式	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne
			013	Oneたわら先進国株式ヘッジ有	たわらノーロード 先進国株式＜為替ヘッジあり＞	
			022	Oneたわら新興国株式	たわらノーロード 新興国株式	
	国内不動産投信	パッシブ	014	Oneたわら国内リート	たわらノーロード 国内リート	アセットマネジメントOne
	海外不動産投信	パッシブ	015	Oneたわら先進国リート	たわらノーロード 先進国リート	アセットマネジメントOne
●元本確保型商品						
商品種類	商品番号		商品名 略称	商品名	運用会社	
定期預金	016	みずほDC定期預金(1年)		みずほDC定期預金(1年)	みずほ銀行	満期に応じてあらかじめ定められた利息収益が得られる元本確保型商品として選定。

※本資料は基準日時点における運用商品情報を記載しています。

手数料等、運用商品の詳しい情報(商品概要説明資料等)はこちら
(信託報酬は「基準価額・リターン・手数料」からご確認ください)

https://www.doplan.co.jp/dcpsweb/rx.appstart?
CLASS=JAB&KINYUCODE=01&ID=GWEB3010101
(提供:確定拠出年金サービス株式会社)



- ※1 運用スタイル……【パッシブ運用】 投資対象の平均的な値動きと同様の運用成果を目指す投資手法です(例えば国内株式に投資するパッシブ運用の投資信託であれば、『日経平均株価』や『東証株価指数(TOPIX)』に連動した運用成果を目指すものがあります)。
【アクティブ運用】 投資対象の平均的な値動きを上回る運用成果を目指す投資手法です(例えば国内株式に投資するアクティブ運用の投資信託であれば、『東証株価指数(TOPIX)』などを目標(ベンチマークといいます)として、その目標を上回る運用成果を目指します。ただし常に上回るわけではなく、下回る場合もあります)。
- ※2 バランス…………… 債券・株式等複数の資産に分散して投資している投資信託です。それぞれの資産への投資比率(アセットアロケーションといいます)は、商品種類ごとに異なります。